

第1回ワークショップ 弟子屈町の目指す将来像～街全体

- 弟子屈町の目指す将来像として4つの「まちの姿」が挙げられました。
- 温泉や自然といった貴重な地域資源を大切にするとともに、まちに対する希望や誇りを醸成し、また多世代が交流し楽しく幸せに暮らせる街であるべきと考えられました。

①温泉のまち

「みんな親切、ほのぼの温泉」／「人々が憩える温泉の町」

②自然豊かなまち

「森の中のオアシスのような」／「自然を大切にする」／「世界の中でトップクラスのサステナブルな取組を行い、先進的な田舎町」

③未来に希望が持てる、誇りに思えるまち

「子供が希望を持てる」／「未来の見える」／「誇りに思える」／「子供たちが戻って着たいと思える」／「東北海道の中心の」／「未永く住んでいられる」／「心豊かに暮らせる」／「ステキといえる」

④世代を超えて交流できる、笑顔あふれるまち

「家族が楽しくできる」／「子供から大人まで生活しやすい」／「世代を越えた交流ができる」／「子供の笑顔が集まる、見られる」／「みんな仲良く住んで楽しい」／「住んで幸せな」／「笑顔のある」／「笑顔あふれる」

第1回ワークショップ 弟子屈町の目指す将来像～中心市街地

- 街の将来像を実現することに資する中心市街地のイメージとして多くのアイデアが出されました。
- ①温泉のまちについては具体の施設に関するアイデアが出されました。②自然豊かなまちについては自然環境に優しい暮らし方が示されました。③未来への希望・誇りについては暮らしの楽しさや文化的な場所、一人一人の活動や関心の実現に加えて、将来の経済的な負担への配慮が挙げられました。④多世代の交流や笑顔あふれるまちについては様々な世代が集まれる・交流できる・くつろげる・支えあう場所のイメージが示されました。

街の将来像	中心市街地の将来像（こんな場所にしたい）
①温泉のまち	<ul style="list-style-type: none"> くつろぎのある場所 温泉入浴施設を中心とした場所 複合施設（温泉・プール・トレーニング）のある場所
②自然豊かなまち	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境にローインパクトな物を使う場所
③未来に希望が持てる、誇りに思えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ステキのきっかけがある場所 楽しい・美味しい・稼げる場所 廃屋のない場所 この街の独自性のある文化の場所 人が集い、街の事に一人ひとりが関心を持ち、活動出来る場所 未来への負担にならない場所（お金がかかる等）
④世代を超えて交流できる、笑顔あふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> 町民が自由に出入りできる場所 いろいろな世代が集う場所 住民のための一家団欒の場所 世代ごとに活用できる機能がある場所 子供たちが楽しみやすく、家族がくつろげる場所 すごく楽しい場所 緩やかな支え合いの拠点 街に訪れた観光客や旅人と町民が交流できる場所